

## 軽米町百人委員会第1回はつらつ子育て部会議事録

○開催日時：平成30年8月10日（金）午後6時30分～8時20分

○開催場所：軽米町役場 3階会議室

○出席者

委員：20名中9名出席

事務局：健康福祉課 坂下、角田、山下、日向

教育委員会事務局 工藤

総務課 吉岡、日山

○開会 副部会長

### 1 部会長あいさつ

（部会長）はつらつ子育て会議に出席頂きありがとうございます。今日は人数が少ないがよろしくをお願いします。

### 2 議事

事務局メンバー変更があった為、自己紹介を実施。その後、今年度のスケジュールについて事務局より説明を行う。

#### （1）今年度のスケジュール

（事務局）事務局案で第1回部会を本日開催する予定としていた。2年目となる今年度は、提言まですすめられるよう、提言に向けての部会の持ち方や取り組み方への議論を深めていきたいと考えている。第2回は9月中旬～下旬、第3回目は10月中に部会を開催し意見を取りまとめていく予定としているが、部会の回数も本日議論する。全体会は11月下旬を予定、提言書提出及び発表できる体制まで持っていきたい。総務課では百人委員会の中で外部講師への謝礼、視察研修等の予算も確保しており、それらの活用についても本日、検討していただければ良い。

（部会の開催回数及びスケジュールについては、昨年同様、3回実施することで出席者の承認を得た。外部講師等については会議の展開に応じて検討することとした。話し合いの持ち方について、活発な意見交換がなされ出席者間で意見の共有が図れていることから、班分けをせずに全体で進めていくこととなった。）

#### （2）『町ぐるみの子育て支援体制の構築』について、昨年度の内容確認

（事務局）事前配布の資料をもとに、昨年度の部会内容を次のとおり説明する。第1回部会（8/1開催）では部会長及び副部会長の選出、自己紹介の他、主に交流についての感想を述べてもらい意見交換を実施。部会のテーマ及びスケジュールも説明している。第2回（10/13）では町の子育て支援の内容について子育て支援ガイドブックを用いて説明を実施し、町ぐるみの子育て支援体制の構築について出席者間で協議した。第3回目も引き続き協議しているが、内容・意見は配布資料を参照し、説明を省略する。この時には今後の進め方について、出された課題について個人、地域、行政それぞれができることを話し合い、テーマについて提言をまとめるという方向性にしていった。全体会（12/19開催）は副部会長の発言内容を抜粋して載せている。他に、町外から転入してきた部会メンバーから「軽米町は良いところ

である」と話されたこと、軽米高校存続のことについても話していた。子育て部会に対する町長コメントを掲載、課題として発言されたことについて住宅整備、雇用の拡大についても頑張っていくと述べていたのを受け、私たちの提言が町政に活かされるようになると考えられるため、活発な意見をお願いしたい。

(3) 『町ぐるみの子育て支援体制の構築』について、提言に向けた協議

(副部会長) 全体会などで容易に理解が得られるよう全委員会に対して同じような視点でアプローチしていくこと、また、一つひとつステップを踏んだ協議にすることの狙いから、昨年冬の全体報告会で高齢者の方々が使用した「自助・共助・公助」のテーマを用い、これに沿ってこれまでに出了意見を別紙にまとめ配布している。以下、内容読み上げ。

- ・公助
- ・共助
- ・自助
- ・背景等その他

高齢者の部会では、共助にポイントを置いて進めていく動きがあると聞いている。

(部会長) どこにポイントを絞っていくかということ。ここに挙げられている意見が叶ったら良いと思う。高齢者は共助を重点にするということだが、私たちは自助・共助・公助の3つでも1つでも良いが、何を求めているかであり、そこで、どれを的にするかということになっていくのだろう。

(事務局) 百人委員会の提言はどんなことでも良いが、町でできることの提言であれば予算化して実現させていくというのものもある。共助については、行政が後押しすれば実現可能ということであれば、そのような協力もできる。自助の部分については、「自分たちはこういうことをしていこう」という提言もあると思う。公助・共助という部分での提言があれば、12月の予算の時には予算要求していきたい。例えば、公園を作ってほしいということに対してすぐに予算をとというのは難しい話であるが、小さなことからコツコツと提言の実現に向けて予算化していきたい考えを持っており、百人委員会を行っていることから子育てに関することを提言してくれればよいのではないか。共助とは委員のみで行うものではない。地域での取り組み案を提言してくれれば、最初は行政が地域に働きかけていくこともできる。

(副部会長) 町の実情として必要だということであれば、共助または公助でと絞らなくても良い感じを受ける。昨年の中身が概ね理解できたところで、出席者全員より意見を伺う。

(委員) 小学生の娘が、軽米中学校から「軽米高校へ進学する人が少ない」という話を聞いた。軽米高校2年の子供の「高校の良さはたくさんあるが、どうしてわからないんだろうね」という話から、現役の高校生たちと今の中学校や小学校高学年くらいの子たちが話をする席を設けても良いのではないかと感じた。ポジティブな考え方の子どもも多いので、少しでも現役の声を聴くと、面倒見の良さ等軽米高校生のいろんな良さからも、軽米高校ってこういうところなんだと理解し軽米高校へ行ってみようかなという子も増えるのではないか。町内の至る所で創立70周年や東大合格等の幕は掛かっているが、入学する人が少なくなれば軽米高校は無くなってしまわないか。地元から高校が無くなると、町としても痛手と

なるだろう。そのためには、そのような場を設けても良いのではないかと親子で話していた。

(委員) 昨年は1回しか会議に参加できなかった。子育てするにあたり自助・共助・公助でみると、行政の力を借りなければ、うまくいかないことがたくさんあるんだなと感じている。小さい子供がいる方からは公園という話が何度も出ているが、すぐに実現出来ることではない。一つの案として、現在駐車場として使用している中央公民館前の広場を、車の出入りを無くし“公園”とする。遊具がなくても、ベンチがあれば母親たちが子供の様子を見ながら交流することが出来るのではないかと。図書館もあることだし、このような小さなことからコツコツと行ってみようか。しかし、中央公民館を利用する人の駐車場はどうするかという問題にもなってくる。新しいものを作るとなると大変だが、今ある公共の広場の一つを“公園”と名付けることによって、公園の代わりになるのではないかと考えた。それに伴いルールが必要になるとも考えたが、まずは公園を作ることによって、いろんな問題が解決していくのではないかと。自分たちで何かやろうという自助のところでも有料でとってしまうため、すごく難しいことだと思う。

(委員) 子育てするには子供がいなければならない。子供を産む若い世代に住んでもらえるように町長もコメントしていたが、人口を増やせるような政策なり賛同してくれるいろんな業種から人口を増やしていかないと子供が増えないし、子に対する手当などもつけばその先に人が増えてくるのではないかと感じた。巣立った子供たちが軽米に戻って来て軽米町で活躍したい等との考えを抱くような指導を、小学校の頃から心に残るような指導、教育をすれば発展していくのではないかと。

(委員) 子育ては終わっているが、公園は必要だと思う。向川原にある公園で遊んでいる子供を見るが、少し狭いのではないかと。東屋的なところがあって、もう少し広ければ、母親たちも遊ばせながら見ることが出来る。子供の自転車の乗り方については、長く務めている交通安全母の会にてスピードを出している子を見たときや、自分が車を運転していた時に道路を横断する子と接触しそうになる等の危険な場面に遭遇したときにも、自転車で遊べるような広い遊び場や公園があれば良いのだろうと感じることがあった。

(委員) 2つ話したい。一つ目は軽米高校の件だが、先ほどの発言と同意見である。今2学級あるが、1学級になると先生も半分になる。先生の働きかけの他、生徒が話すことで子供たちの理解に繋がることもあるんだろうと思う。そのような交流をどんどん進めていき、軽高が大事だと思う教師と生徒の気持ちが地域の人にも広がって行って、大切に思ってくれるようになれば良いと思う。2つ目は質問である。プリントにある“共助”について、行政に頼らない世代間交流事業、最近では軽米中学校と地域での共同による世代間交流事業があり参加者が皆満足していたということだが、具体的な内容をお聞きしたい。

(副部長) 配布資料を基に、質問に対する説明。(昨年11/17開催、第3回会議議事録読み上げ) 軽米中学校の活動として、3学年で地域ごとに散らばって行ったようである。笹渡地区では老人クラブの方と笹渡保育園の奉仕作業(園庭草取り、窓拭き)を行った。今まで高齢者や子供と触れ合う機会が無かった中学生からは、交流が良かった、楽しかったという感想が聞かれた。このような活動を続けてほし

いと思っている、との意見であった。昨年度の素晴らしい活動である。

(委員) 私は子供が小さかった9年前に北上市から転入し、現在は小軽米に住んでいるが、先に話が出ていたように、自身も遊ぶ所が無いなと思ったのは覚えている。アスレチックのあるフォリストパークに行ったら子供たちを放したら、どこまででも遊びに行ったが、凄く淋しかったのを覚えている。チューリップのシーズンだと車が渋滞するくらいなのに、シーズンオフだとこんなに寂しいんだなど。子供が成長した今は個人的に公園の必要性はないが、あったら良い場所なのだろうとは思っている。進学を考えている高校3年生の長女は、もう軽米には戻って来ないのではないかとこの雰囲気がある。ここに書かれているように、大学を出て帰って来ても仕事が無ければ軽米に住まないし、この内容を見て、息子4人全員が帰って来なそうだなと思った。中学生はテニスをしているが、テニスのために遠方から早朝4時~5時に出て来て、試合後に疲れている中帰るのは気の毒である。大野村にあるような、ちょっとした宿泊施設が軽米にもあれば良いと、毎回思っている。

(委員) 私も転勤族であり、公助の一番上に記載されていることを自分も言った覚えがある。昨年の会議で、保育園で一時預かりをやっていた時期には利用者がほとんどいなかったとの話があったが、町が転入者を受け入れ整えていく気持ちがあるのであれば、一時保育や病児保育も必要であり整えていく必要があるだろう。例えば若い人を増やしたいという時に、町に縁のある人たちを呼び戻すという形で人口を増やしたいと考えるのであれば、入園前保育や一時預かりは一部の人しか必要としないのではないかと感じているが、軽米町が今後どのような政策をとっていくのかと思っている。やはり、子育てをしている現時点では公園は必要と考えるが、こんなに公園が無いところは初めてだったこともあり、町側として今まで公園が無かった理由があるのかとも考えた。現在住んでいる萩田には集会所横に小さな公園があり、萩田地区の子以外にも遠くから来て遊んでいる子もいるため、公園があったら子供たちが使うと思った。しかし、笹渡や、まちなかにあっても来ないですね。どこに何を作ったら一番良いのか、考えると更にわからなくなってくる。わざわざ自転車を車に積んで『ハートフル』まで練習に行く母親もいるし、子供たちも、『おかりや』まで行って自転車で遊んだりしている状況であるため、場所が無いわけではないのかもしれないが、子供がもっと自分で遊びに行ける場所があれば良いなどは常に思う。『おかりや』では、外のアスファルトの広い所で遊んでいる。

以上、全員から意見や感想を頂いた。

(副部長) 皆さんの意見を聞いて、高校生と中学生が話し合う場があれば良いということであったが、以前は一日入学で話を聞いたりクラブを見たりする機会があった。しかし、今はそのような機会が無い。

(委員) 今も機会があり、中学3年生が軽米高校に行ったと聞いている。以前は希望者だけであったが、今は中学3年生全員で軽米高校に見学に行くようになっているようだ。

(委員) 私は他所から転入して来た当事者として、一時預かりは必要であると思っている。預ける場所が無いため、結局は子供を休ませて家の中に居ることにならなければならない。預けられる場所を知っていれば利用できるかも知れないが、

他市町村からの転入者を多く受け入れて増やすというのであれば必要だと思うし、若い人に住んでもらい子供を増やすためにも、子育てだけではなく若者への補助やサービスがあれば良いのではないかな。いつも思うのは、軽米は宣伝が足りないということ。放送だけで宣伝しても聞き逃し、後になって分かることもある。もっと皆が分かるような方法があれば、軽米が良い町であることを分かってくれるのではないかな。私が軽米保育園に居たときは、他市町村から来た祖父母がいない家庭に対し、産前産後を看るという一時預かりを行ったが、その頃はあまり無かった。病児保育となると看護師の配置や医師へ連絡がつけられる体制等で難しいが、自身の経験上、一時預かりはそれ程難しくなく出来るのではないかな。このようなところも具体的に考えていければよいかなと思う。公園は確かに少ない印象。

(委員) 私は転入して36年になるが、転入当初は公園があった。向川原の中村病院の向かいの公園で集まっていた。ブランコやジャングルジムなどもあった。

(委員) 昔は部落毎にブランコなど設置している所があった。今はみんなゲートボール場になってしまい、子供たちが遊ぶ場所が無くなってしまったなという印象を持っている。

(委員) 世の中が難しくなっているように感じる。ブランコにしても、鉄製のものが怪我や死亡事故があったと撤去し、次にゴム製のブランコ、今は綱がついていてぶつかっても痛くない物へと、次々と変わっていつている。積み木にしても同様である。今は物の管理問題になって来ているため、公園も難しくなってきたのではないかなと思う。

(委員) 確かに、子供が安心して遊べる場所が必要かもしれない。

(委員) 私が子育てしていた頃は、B&Gの駐車場が自転車に乗って遊ぶ場所だった。そこにはトイレもあった。現在はバスの駐車場になっている。

(副部長) やはり昨年のお話し合いの中でも公園については、盛岡に縁のある参加者の中から競馬場跡地の公園がとても広くて、ウォーキング、自転車、サッカー等も出来る良い公園だったとの紹介があったが、軽米の場合は大きい施設の駐車場がその代替になっていて、公園の為の公園ではなく、ただその場所が広いから遊んでいるという。もっと軽米公園として軽米らしさが出せるような公園が出来たら良いのかもしれない。昨年度のお話し合いでは、建設予定の交流駅に接地したら良いだろうという意見だったが、本日は視点が変わり、中央公民館の駐車場を公園に変えようという意見や、自転車で思いっきり遊ばせるためには密集している交流駅周辺よりは河川敷や他の良いポイントが隠れているのかもしれないというような、発掘していけば公園の候補地に公園を作れる可能性があるのではないかなと感じた。例えば中央公民館の駐車場を公園に変えてしまおうという点は、丁度よく他に駐車場を確保できれば、新設に比較して低予算でできる可能性があるのではないかな。他、皆さんの意見を聞いての私の感想としては、軽米高校を守りたいということ。実は、統合検討委員会のようなものがカシオペアにあり、学校長やPTA会長などが集まって話し合いをしたときに、福岡高校の教育委員長などは福岡高校さえ存続が危ぶまれると話していた。このままでは小さい普通の高校になって、今までの伝統校としての活躍は出来なくなっているかもしれないけれど、軽米高校や伊保内高校が皆集まってくればやれるという話があり、皆驚いていたが誰も領かないという空しい委員会になっていた。そうしたところ、県の教育委員会の方か

らは、実は県南や北上花巻辺りでは統合案に同調する案がある中、県北はそうではないとの話がされた。県北は鉄道も通っておらず、籠った感じがある所に、県内のどの学校にしても転勤してきて住んでいる先生方がいる。私は晴山中学校の閉校に立ち会ったことがあるが、晴山地区で縄文の辺りから異動が無い人種の所に県内出身のいろんな所から集まる 10 人 15 人の先生方が、中学校で生徒たちに伝達するいろんな発想があること、あれは大きいことなんだと思う。それが無くなって、晴山の人しかいなくなったらということは感じた。そういう点では、本能的に軽米のこういうところを守りたいという、県内から軽米高校にたくさん集まってくる先生方、例えば今年のメンバーの旦那さんは陸上部の名監督でしたが、軽米高校が縮小化してきて県下ナンバー1 は出ないだろうと誰もが呟き始めていた頃にハンマー投げで 1 位、3 位、5 位と表彰台に多数挙がったりして、まだ軽米高校から県のチャンピオンが出たと嬉しい話題があったし、今度は東京大学に合格するという、誰も想像していない快挙が起きたりすれば町は沸き立つ。高校野球が 1 回戦で勝っただけでも町の空気は変わる。そういう意味では、軽米高校の想いは伝わってくるなど思う。それから、いくら子育てで頑張っても大学卒業後に就職先が無くて戻って来れないというのであれば、起承転結の結が無く盛り上がりがないということについては、現在、カシオペア地区では就職するといえば介護、ブローラー、アパレルの 3 つしか無いと言われている。北上辺りだと、誘致等で活気があるが、これは全産業的な悩みになると思うが、そこに、ソーラーや新しい農業と、軽米町は積極的に取り組んでくれているように感じている。今日のこれまでの話し合いの中では、以前はあった公園すらも消えていくということについて、軽米ならではの新しい公園づくりを提言に結び付けていける共通の盛り上がりになったのではないかと感じた。では、何故、軽米では公園が充実していないのかという疑問に対して、直感でも良いので聞かせてほしい。

(事務局) ジェネレーションギャップかもしれないが、自分が子供の頃は小軽米に公園は無く、遊び場は学校の校庭だった。遊具があり、入学前の子供でも遊べた。自分の子供たちも同様の環境だったが、以前は児童でなくとも、学校活動の邪魔にならなければいつでも自由に遊んで下さいというような環境であったが、学校に不法侵入し悪事を行う人も出て来ている中で、どの程度、学校側から共用してくれるのかというのがあった。小軽米以外でも、全体的にこのような状況であったろう。他に山や川が遊び場で、木の実を採ったり枝を折って刀を作ってチャンバラをしたりというような感じだった。ところが、時代によって変化してきていると思うのは、我々が小さい時は野良犬やクマが山に出るという状況でもなかったため、それで良しだったのかと。このあたりが時代で変わってきているため、公園が欲しいというのは切実な声だと思って聞いていた。例えば中央公民館のところを公園にするという提案もあったが、サッカーとまではいかずとも、歩行始めの子供が散歩したり遊んだりする様子を母がベンチに座って見る等であれば省スペースで済むため、公共施設の一角を利用して対応することができるのではないかと聞いていた。ただし、何をするにも予算が、といった前置きを付けてしまっていて大変申し訳なく思うが、直ちにできるかは別として、このような意見は大事にしていきたいと考えている。中央公民館の活用については、公民館と図書館の機能を備えている軽米交流駅にその機能が移った後の今の施設をどう使うかの議論も、

これからしていかななくてはならないため、その際に意見を参考にさせて頂く。答えにはなっていないかもしれないが。

(副部会長) 私も同世代である。昔は他の家の庭や畑、山、伐採の終えた果樹園の利用を許してもらって、そこに1年~6年生までの縦型の集団が行って、取り残しの桃を採って食べるというように、昔は全部が遊び場であったと自分も話す。確かに学校のグラウンドは放課後に何割かは居るというのがあったが、どちらも社会から締め出されてきているかなと思う。他人の畑には入れないような感じであるし、学校からも締め出され、居場所が無くなってきているから公園づくりに立ち上がらなければならないのではないかと感じている。もう一つ思い出したのだが、今日のポイントとしてイメージ強く感じられたのは、昨年初めて通勤族のあるいはこちらに嫁に来た人から出された、入園前保育や病児保育等の一時預かりが出来るサービスが無いことに困り愕然としたとあり、本日の資料の町長のコメントからも、病児保育、入園前の一時預かりこういったものもしっかり対応しながら子育て世代の支援をしていきたいとのことだったため、先ほどの需要が無かったため萎んで無くなってしまったということに対し皆さんから、需要が無いからやらないのではなく、需要が来るのを待つために、作って待っているという強い姿勢。そうなってくると去年の意見で出た軽米町の弱いところというのが、例えばアピールで、いつ来ても一時保育や病児保育の受け入れが整っている町です、とパンフレットの中にも加えたら、今は無くてもやらざるを得ないというくらいの強い取り組みが必要なかなと思う。人並みにやっていたら、一戸町の戦略的な子育て支援は二戸に住んでも良い人呼び寄せる力強さを感じるため、軽米町も取り敢えず自分たちが程よく楽しく過ごせればいいなというのであればその進め方で良いと思うし、それだけだと立ち行かなくなっていくので他所からも、あるいは一旦転出した人や縁のある人呼び寄せるというのであれば、積極的な攻め方・取り組み方も必要になってくるのだと思う。もしかしたらそれに町長が応えてくれるかもしれないなども感じている。軽米町の新しい形、入園前保育や病児保育等の改善策は提言の参考になったのではないかと考える。他、皆さんから話しておきたいことはないか。去年、大きな代替案としては幼稚園と保育園を統合して認定こども園(既に二戸市にある)にしてはどうかなどの意見を我々が好きに話しているが、大きなハードルがある等ということや実態等、わかる範囲で役場側より情報として話を頂きたい。

(事務局) 認定こども園の整備については、検討している段階である。施設基準について、例えば幼稚園には給食室がないなどということもあるため、統合して認定こども園にできるかというところは検討しながらやっているところである。例えば九戸にある認定こども園の視察などもこの部会で行っても良いのではないかと考える。町長の指示も出ているが、他の業務があり難儀気味になっている。

(委員) 連携型、保育園型などパターンが何通りもあり、県の認定を受けながら進めなければならないというのがホームページについていたが、私立は県内にも多いが、公立は県南が多い。わかる範囲では、この周辺であると、普代村、葛巻町、岩泉町が保育所型という認定こども園になっているようだ。

(事務局) 幼稚園型、保育園型、連携型などいろいろあるようであるが内容が分かっていない。認定こども園は内閣府、幼稚園は文科省、保育園は厚労省、合体すると内

閣府と管轄も異なるが、そのあたりの情報も分かっていない。

(副部会長) まず、いくら議論してもこれは無理な話だよという話ではない。町としても勉強を始めて下さっているという情報でした。去年の中でも、夢提案として、折角スポーツ施設が整っているため、最後のとどめとして立派な体育館を建設してはどうかという意見に、スポーツ委員会のほうで大幅な予算を計上した体育館のリフォームを行うとの話があるようであるが、この点についてわかる範囲で良いため役場の方から説明を頂きたい。

(事務局) 体育館については、一つは屋根の雨漏りがあり床が滑って危険であると同時にワックスが痛んで、ささくれになる可能性がある。去年、まずは屋根の改修を行った。今年は床の貼り替えを行うということで、今はまだ設計段階であるが、床の資材をどうするか体協の方々に集まってもらい意見を取りまとめている。現在の規定では、木のフロアの場合にワックスがけが禁止されているようである。塗料を塗ったものを貼り、10年経過したら貼り替えという形になる等、長期的に見たランニングコストも踏まえ検討していくことになるだろう。素材によって工事費用が全く異なってくるようであるが、早くて1月下旬、素材にこだわれば3月になってくる可能性もある。屋根と同時に昨年電気のLED化改修も行い体育館は長寿命化工事を行ったため、現在のところ、テニスコートが2面とれるような新しい体育館は難しいと思われる。

(副部会長) 向こう10年は今の体育館ということでしょうね。

(事務局) 最低でも、そうでしょう。

(副部会長) わかりました。体育館についての報告は以上でした。では、これまでのところで部会長より何かお願いします。

(部会長) 一時預かりと病児保育ということと、公園が欲しいということなのですが、今までいろんな意見を見てきた中で、それらの意見よりも必要だという意見は無いでしょうか。この2つに絞っても良いでしょうか。

(副部会長) まだまだ絞らなくても良いのではないかと。実は去年の辺りで一番盛り上がっていたのは宿泊温泉施設だった。

(部会長) そのような施設があれば経済も動くでしょうね。

(副部会長) 確かに大野や山形村、九戸にもあり、軽米だけに無いという印象を受ける。

(委員) 軽米の入浴施設は何歳以上の老人が対象になっているのか。

(事務局) 老人福祉センターは、60歳以上は無料となっているが、利用料100円で子供でも誰でも入れることになっている。

(委員) 折角あるのに、老人福祉センターだと子供連れだと行けないですよ。

(事務局) 確かに、そのように思う。

(委員) 一度に何人くらい入れるのか。

(事務局) 4~5人くらいだろう。湯船は小さいが、取り敢えず誰でも入れるということになっている。

(副部会長) 先ほどの報告の中でも、折角スポーツが盛んで、色々なスポーツをする方が来町していて、朝の4時5時に家を出て来ているのを考えると、スポーツ後はすぐにでも入浴したいところ我慢して帰っているというのが現状であると思う。今日の提言の可能性としては、新しい公園のかたちと入園前・病児保育の二本柱として出たが、三本柱とするならば入浴宿泊施設でしょうか。某熟年議員さんも風

呂一つで応援団長としてついてくれる方もいそうですし、スポーツ部会とコラボして瓢箪から駒で動き始めるかもしれない。今日、3 回目の提言の結果としてはこのようなことかなと思ったところで 8 時になったため、余力を残して終わっても良いかと感じております。あとは皆さんから次の話題のきっかけの一つとして話しておきたいということがあれば出して頂きたい。

(委員) 病児保育や一時預かりについては町長がコメントしていますものね。

(副部長) そうですね。では具体的な提言が良いのですかね。このようなシナリオで行ってくださいというような。

(委員) 新しい交流駅にはシャワー室はついているのか。

(委員) トレーニングルームのところに付く予定である。トレーニング後に爽快になって帰れるようになる。

(委員) 使用できるかは不明であるが、体育館にもシャワールームはついていますよね。

(事務局) 使用できるように直したはずである。

(事務局) ハートフルの野球場にもシャワー室がある。

(副部長) 折角ですので、役場の方々にも一言ずつ頂きたい。病児保育や保育についてよろしくをお願いします。

(事務局) 最近、他市町村から来た妊産婦 2 名と児童相談所職員より、一時預かりが無いことについて指摘を受けた。久慈でも一時預かりが行えていることより軽米町でも行える筈だとの意見を頂いたばかりであったため、負けていられないなど思っている。二戸市も始めましたよね。

(委員) 自分たちの時は実施しなければならないというようになっていたため、なぜ一時預かりが無くなったかが分からない。誰も来なくなったが、実施しませんということではなかった気がする。それが、きっと、いつのまにか実施しないことになった。

(委員) 一時預かりは、難しくなく出来ることですよ。

(事務局) 久慈では NPO 法人が行っているようである。

(委員) 保育園とは別に行っているのか。

(事務局) 別に行っている。

(副部長) はい、ではこのような感じになります。

(事務局) 昨年輕米保育園に居たが、それ以前にも児童福祉を担当していた時がある。その頃より子供の数は減っているが、保育園入所数は増え、特に 1 歳児が増えている状況である。そのため保育室が足りずランチルームが保育室になっているような状態であった。このため、以前なら一時預かりが可能であったが、今、軽米保育園で行うのは難しいと考える。他の、NPO 等があれば良いのだが…。こども園についてもいろいろ検討したいが、大幅に改築しなければならない所もあるため、多くの声がある以上、知恵を絞って考えていかなければならないと思っている。

(事務局) 青少年ホームや高校の辺りは合宿所というような形で、風呂もあるしご飯を作って合宿してという活動が何度もあった。残念ながら今は少ないと思うし、今は休憩所と様変わりして使用している。もう一度復活ということにはいけないと思うが、大きくなくとも合宿所のようなものが出来れば良いと思うし、あとは、軽米の野球場は大学より利用を申し込まれるなど状態の良い野球場であるため、お金があればという問題でもあるが、このように誘致出来れば良いと考える。

(副部会長) そのような施設が出来れば、盛岡三高は誘致できるかもしれませんね。軽米高校と練習試合をする等、何度か訪れているため。

(事務局) 今日出た話の中で、公園について触れる。自身が子供の時は、公園があったら良いなと実際に考えることはほぼ無かったが、子供を持つ親の立場としては必要だと切実に思う。小さなスペースでも、ベンチがあって公園と名付ければ、少しずつ子供や中高生が寄るようになるのではないか。要所要所にそのような場所があれば、徐々に定着していき、集まりの場になるというのも良いのではないかと感じた。

(副部会長) 他に皆さんより意見はないか。それでは、認定こども園の見学等も申し込めば実現出来そうなことから、次回9月の部会の際には見学への参加意向も確認することになると予想されるため、考えていて下さい。時間にもなりましたので、1回目の話し合いとしてはここまでで良いかと思えます。活発な意見が出ましたので、活かしていきたいと思えます。

(委員) 別紙の資料について一つよろしいか。アンケートその他で現在の中高生の停滞する要望も聞いてみて反映させたら良いのではないかと思うのですが。

(副部会長) 出来ないことではないですよ。軽米高校に行ってお願ひしてくれば良いのだから。

(委員) 別の高校に進学した子より理由を聞くことができれば、軽米高校に足りないものが何か見えてくると思うのだが。実際、そのようにやっていかないと変えられないだろう。現実を知らないとだめだと思うので。

(副部会長) さっと切り込んで良いかもしれませんね。そのあたりも、皆さんと一緒に検討していきましょう。他にないか。それでは最後に事務局よりお願いします。

(事務局) 特には無い。

(4) その他 特になし

### 3 その他

次回の部会は9月中旬から下旬、時間帯は今回同様とする。

### ○閉会

(部会長) たくさんのご意見ありがとうございました。これで終わりにしたいと思います。お疲れ様でした。